

京都大学陸上競技部の紹介

1, 歴史

- 1899年 京都帝国大学陸上運動会開催（陸上部主催）～1908年
- 1920年 陸上運動会（下加茂植物園運動場）が復活、学部対抗の1600mリレーに木村潔(後の『蒼穹会』初代会長)らが医学部選手として出場し優勝。
- 1922年 第2回関西学生陸上競技大会に出場するため木村潔により関西学生陸上競技連盟への加盟手続きがとられた。

1924年10月26日

京都大学北白川運動場にて東大との第1回対抗競技を開催。
この年を京都大学陸上競技部創立とする。

- 1928年 木村により陸上競技部OBと現役学生との連帯感醸成のための組織がつけられ、『蒼穹会』と名付けられた

過去のオリンピック代表選手

- 1928年 アムステルダム大会
京大生の相澤巖（短距離、100m、200m、400mリレーに出場）
- 1932年 ロサンゼルス大会
京大入学前・浪人中の田島直人（跳躍、走り幅跳び6位）
- 1936年 ベルリン大会
京大卒の田島直人（跳躍、三段跳び優勝、走り幅跳び3位）
京大卒の原田正夫（跳躍、三段跳び2位）
京大生の松野榮一郎（投擲、ハンマー投げに出場）
- 1952年 ヘルシンキ大会
京大生の山本弘一（中距離、1600mリレーに出場）
- 1975年 初の女性選手部員加入(加藤千春,西田春子,狩野晃子の3名)

2,世界陸上選手権大会代表選手

- 2005年 第10回ヘルシンキ大会
京大生の杉本明洋（競歩、20km競歩、25位）
- 2007年 第11回大阪大会
京大卒の杉本明洋（競歩、20km競歩、19位）

3. 現在の部員数

学部生	男子	101名
	女子	29名
大学院生	男子	25名
	女子	1名